

市制施行60周年は「紡ぐ」をテーマに、3つの基本コンセプトを掲げます

歴史をつむぐ〜地域資源の再発見と継承〜

かつて「日本デンマーク」と呼ばれ、農業先進都市であった安城市。近年は、農・工・商のバランスがとれたまちとして発展しています。この歴史を後世に受け継ぎながら、平成25年に生誕100周年を迎える新美南吉など、安城の更なる魅力を発見し、新たな歴史を紡ぎます。

心をつむぐ〜市民の絆、地域のつながり〜

60周年記念事業は、市民の皆さんからも募集。また、市制施行翌年から続いている安城七夕まつりをはじめ、数多くの行事を開催します。このようなイベントを通して、多くの人との出会いを楽しみ、心を紡ぎます。

夢をつむぐ〜未来を拓く新たな挑戦〜

安城市は、平成22年度に安城市自治基本条例を施行し、市民が主役のまちづくりを理念としています。さらなる飛躍と発展に向け、安城のまちづくりを市民の皆さんと共に考え、60周年を活気のある一年として、今後につなげられるよう、安城の夢を紡ぎます。

紡ぐ〜安城市市制施行60周年

特集2

市民公募事業を募集

昭和27年5月5日に誕生した安城市は、平成24年、市制施行60周年を迎えます。

そこで、来年度は、さまざまな記念事業を開催していきます。

60周年は「紡ぐ」

市では、記念事業を開催するにあたり、テーマを掲げました。それは、「紡ぐ」です。

市制施行当時、紡績業が栄えていた安城市。安城で教鞭を取っていた新美南吉も、自身の作品で紡ぎ車を詠ったように、「紡ぐ」という概念は、かつて人々の生活の中に、当たり前のように存在していました。市でも、これまで、繊維をよって糸を作

るように、豊かな自然・歴史・伝統・文化など、さまざまな要素を織り交ぜながら、ひとつの時代を作りあげてきました。

これから、市が新たなスタートを迎えるにあたり、その心を受け継いで、人々の「つながり」の糸を紡ぎ、これまで積み上げてきたネットワークや資源を未来へ伝えたい、という思いを込めています。

市制60周年記念市民公募事業募集概要

市民の皆さんの市制60周年記念活動に対して、補助金を支給し、支援します。

●対象者 市内在住・在勤・在学の人またはその人が所属する団体

●対象事業 次の①〜④すべてを満たすもの

- ①平成24年4月1日(月)〜平成25年3月31日(日)に実施するもの
- ②自ら企画・運営・実施するもの
- ③原則、市内で実施し、広く市民が参加できるもの
- ④市制60周年を記念して拡大するものまたは新規で立ち上げるもの

●補助額 事業経費の2分の1。1事業に対する補助金の上限は100万円

※人件費・飲食費・団体運営費を除く。

●提出書類 申請書、実施計画書、収支予算書、個人・団体概要書

※申請書は、企画政策課、市公式ウェブサイトで配布。

●申し込み 8月1日(月)〜10月31日(月)午前8時30分〜午後5時15分(最終日は午後5時まで、(日)(祝)を除く)に、直接持参か郵送(必着)で、企画政策課(〒446-18501住所記載不要)へ

■事前説明会

●とき 7月30日(土)午前10時

●ところ 市民交流センター

●申し込み 7月22日(金)までに、氏名・団体名・電話番号を企画政策課へ

※当日参加も可。